

事業報告書（令和4（2022）年度）

令和4年1月1日～令和4年12月31日まで

長期入院の子どもと付き添い家族を支える会

事業内容	長期入院の子どもに付き添い家族へのこだわりお弁当とパンの無償配布 小児がん拠点病院小児病棟へ無添加食品の差し入れ 病児とその家族へのリフレッシュケアサポート みんなの居場所事業（みんなの居場所～多世代交流で平常時から緊急時まで、困った時に誰もが孤立しない地域づくり～）
事業実施内容	<p><b>【お弁当とパンの無償配布】</b> 2022年1月～2022年12月 北海道大学病院小児病棟と札幌医科大学附属病院小児病棟の付き添い家族へ市内こだわり飲食店のお弁当とパンの無償提供</p> <p>実施回数は、月に7回～8回。 活動場所は、北海道大学病院と札幌医科大学附属病院の小児病棟。 受益者は、長期入院の子どもに付き添い病棟で暮らしている家族。 お昼ご飯の時刻に合わせて、素材や調味料にこだわったお弁当とパンのお届け。</p> <p>もともと活動していた北海道大学病院小児病棟は加えて、2022年6月から札幌医科大学附属病院にもお届けができるようになり、二か所の小児病棟にお届けしています。</p> <p>2022年4月～2023年2月までの時点で、無償提供した延べ人数は1365人。</p> <p><b>【無添加食品の無償提供とその他の差し入れ】</b> 2022年8月 無添加食品のイシイ食品さんのおかずセットの無償提供 北大病院小児病棟 14セット、札幌医科大学附属病院小児病棟 10セット、北檜病院小児病棟 26セット、北海道立子ども総合医療・療育センターコードモックル 10セット</p> <p>2022年12月～2023年1月 支援者から事務所に送られた食品やお菓子、ティーバッグやドリップバッグコーヒーなどをパッキングして病棟や元付き添いさん希望者へ適宜発送。</p> <p><b>【リフレッシュケアサポート】</b> お子さんが退院された方からのお申し込みは、年間7名。直接申し込みをするには、知らない人が家に来る不安や、お子さんの預け先などの壁などから話し合いを重ね、夏から準備をはじめ、サロン形式にして募集し開始。 8月24日のサロンには8名、10月30日のサロンには4名の方が利用された。次年度も年に何度か開催したい。</p> <p><b>【みんなの居場所】</b> 平常時から地域とのつながりをもつことが大事、というコンセプトではじめた地域での多世代型交流の居場所事業は、月に2回。八軒東会館の大広間にて開催。来所者数、2022年11月～2022年12月までの3回で、33名来所。</p> <p><b>【その他】</b> ・サポート時（お弁当などや無添加食品のお届け時、リフレッシュケア時）に、会や会の行っているサポートを知ってもらうためのツール作成と印刷  ・ホームページリニューアル中、まだ完成に至っていないが、いい方向に向かっている。</p>